

決算説明会資料

2024年9月期 第1四半期

アクセルマーク株式会社（東証グロース:3624）
2024年2月8日



目次

- 1 2024年9月期 1Q業績概要**
- 2 各事業の状況
- 3 2024年9月期 業績予想
- 4 今後の方針について

1 2024年9月期 1Qサマリー

売上高

558 百万円
(前四半期：523百万円)

営業
利益

▲20 百万円
(前四半期：▲47百万円)

当期
純利益

41 百万円
(前四半期：▲55百万円)

EBITDA

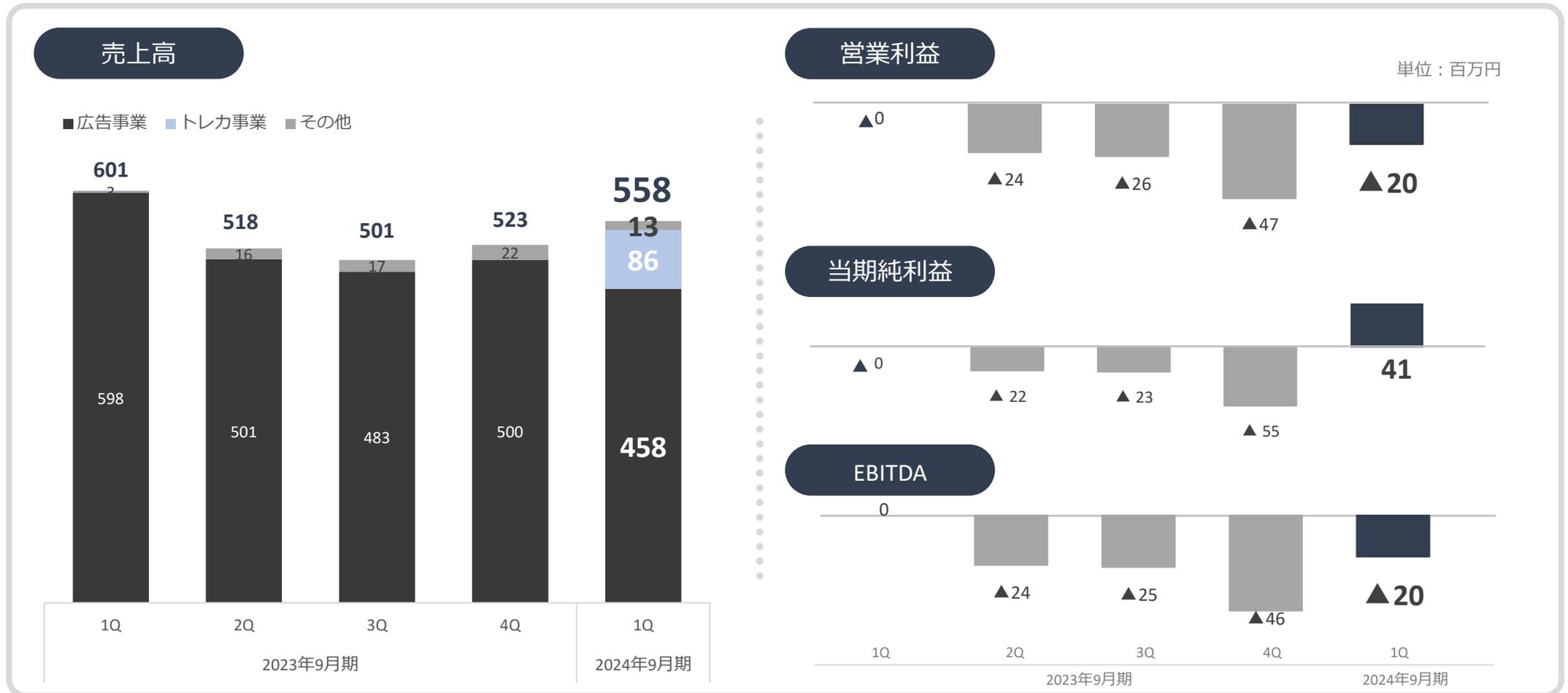
▲20 百万円
(前四半期：▲46百万円)

□ 概況

- ・ 広告事業は市況感の停滞による影響もあり売上高が減少しているものの、新規事業のトレカ事業が前四半期比で売上高をカバー
- ・ 広告事業を中心とした事業投資により開発中の新たな広告配信プラットフォームに関して、第2四半期でのサービス開始に向けた最終調整を実施
- ・ 事業の立ち上げに成功し、トレカ事業を第1四半期より報告セグメント化
- ・ 積雪深自動モニタリングシステム「YUKIMI」は、新たに複数の自治体にて導入開始
- ・ 投資事業組合運用益を営業外収益として計上したことにより、当期純利益は黒字

1 業績の四半期推移

当第1四半期に関して、トレカ事業が報告セグメント化し業績貢献、および、積雪深自動モニタリングシステム「YUKIMI」の導入自治体数の増加により、QoQ比で増収、営業赤字幅縮小



1 損益計算書四半期推移

新規事業による業績貢献もあり、QonQ比で増収、営業赤字幅縮小となり、事業計画通りに推移
投資事業組合運用益等を営業外収益として計上

単位：百万円

	前期			当期	QonQ
	2Q	3Q	4Q	1Q	差異
売上高	518	501	523	558	+35
売上原価	467	447	484	490	+6
売上総利益	50	54	38	67	+29
販売費及び一般管理費	75	80	86	88	+2
営業利益	▲24	▲26	▲47	▲20	+27
営業外収益	5	1	0	61	+61
営業外費用	3	0	2	0	▲2
経常利益	▲23	▲24	▲50	40	+90
特別利益	1	0	1	1	▲0
特別損失	-	-	6	-	▲6
税引前当期純利益	▲22	▲23	▲54	41	+95
法人税等	0	0	0	0	-
当期純利益	▲22	▲23	▲55	41	+96
EBITDA	▲24	▲25	▲46	▲20	+27

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

1 貸借対照表概要

広告事業のシステム開発投資により、無形固定資産が増加、
トレカ事業開始にかかる投資のため、その他の資産が増加、
引き続き財務の健全性を維持

単位：百万円

	2023年 9月期 4Q末	2024年 9月期 1Q末
流動資産	1,182	1,044
現金及び預金	906	760
売掛金	188	191
その他	88	92
固定資産	240	406
有形固定資産	11	10
無形固定資産	99	145
投資その他の資産	129	250
資産合計	1,422	1,450
自己資本比率	59.6%	61.1%

	2023年 9月期 4Q末	2024年 9月期 4Q末
流動負債	211	200
買掛金	162	148
その他	49	51
固定負債	356	356
転換社債型新株予約権付社債	356	356
負債合計	568	557
資本金等	946	946
利益剰余金	▲102	▲60
新株予約権	6	6
その他	2	0
純資産等合計	854	893
負債・純資産等合計	1,422	1,450

目次

- 1 2024年9月期 1Q業績概要
- 2 各事業の状況**
- 3 2024年9月期 業績予想
- 4 今後の方針について

2 2024年9月期 各事業の取り組み

広告事業

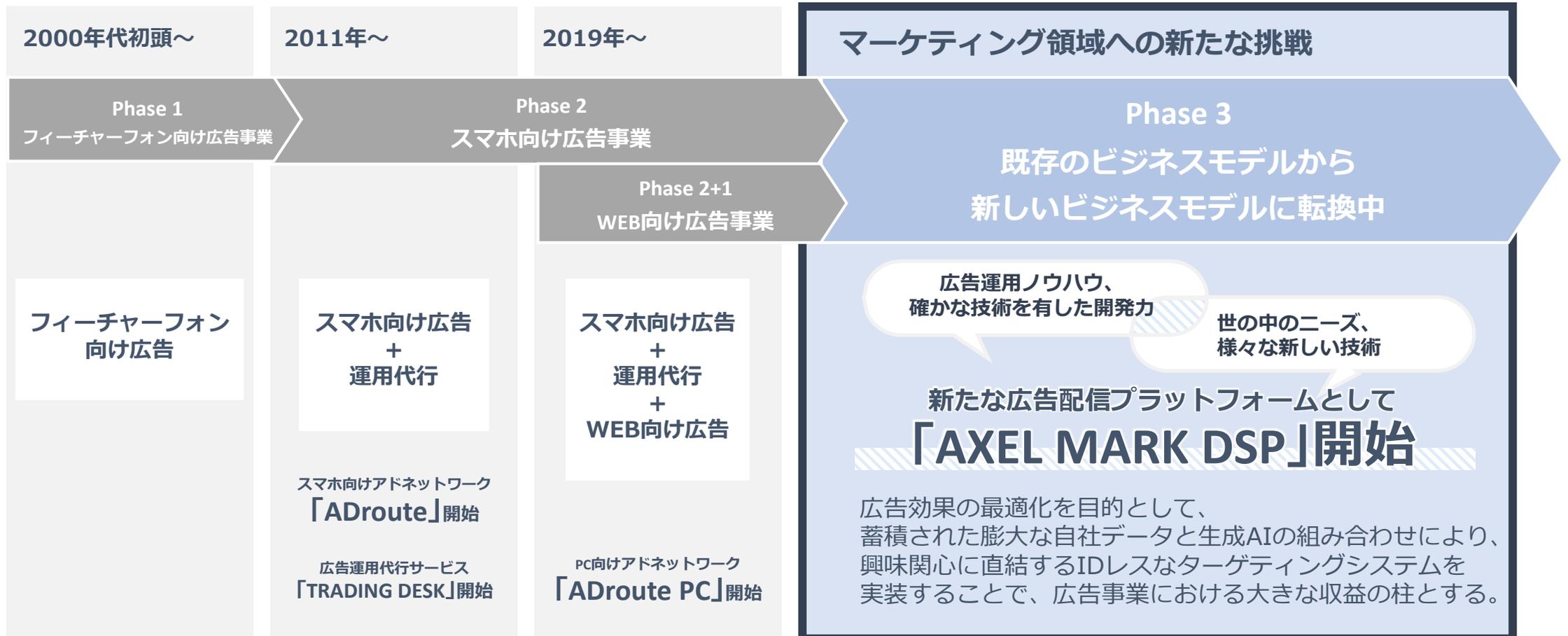
トレカ事業

ヘルスケア事業

IoT事業

2 広告事業 今までの経緯～今後

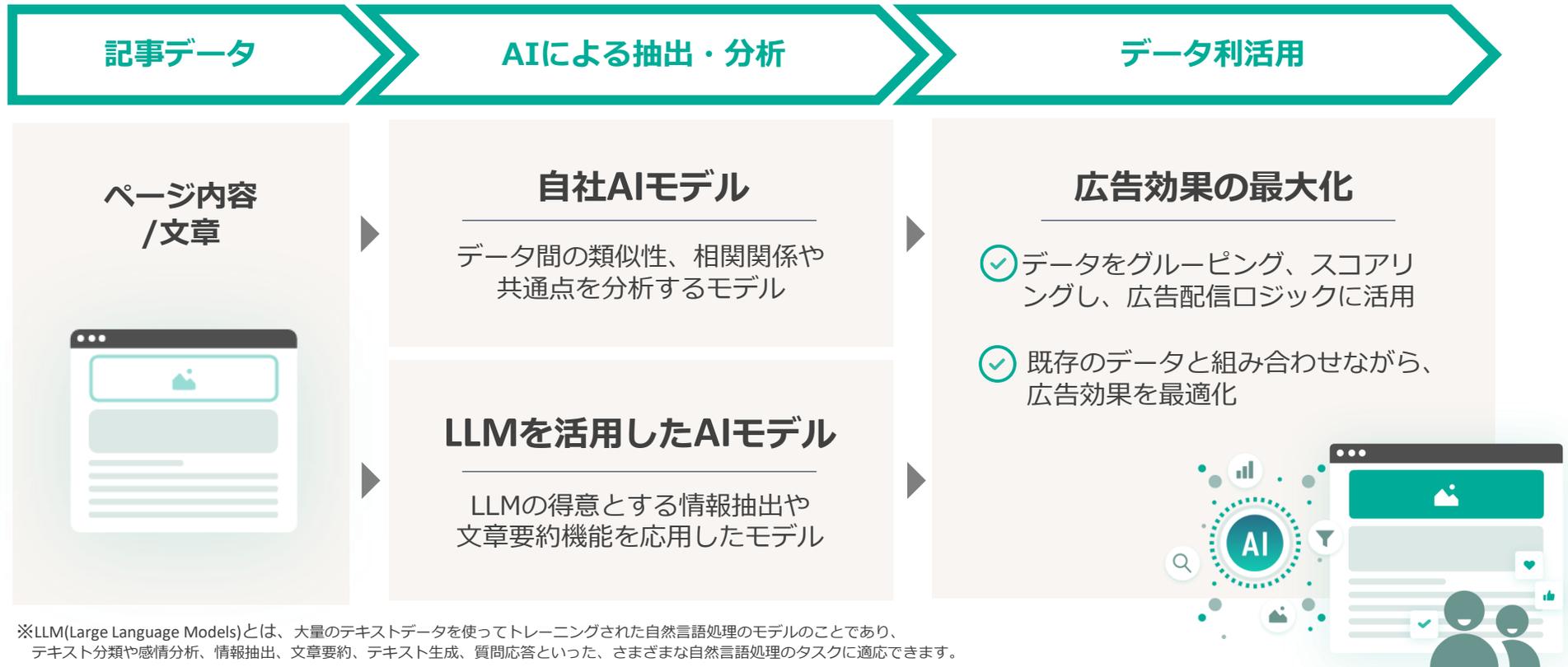
現在、既存広告サービスは市場動向により売上減少傾向にあるものの、「AXEL MARK DSP」の取引拡大により広告事業としての事業拡大を目指し、既存のビジネスモデルから新しいビジネスモデルへの転換を図る。



2 広告事業 「AXEL MARK DSP」の特徴

生成AIを組み合わせたコンテキストターゲティングシステム

蓄積された膨大な自社データと広告効果の見込めるパターンを学習/分析し、
広告効果の最適化に活用。AIモデル作成の過程で、生成AIを利用。



2 2024年9月期 各事業の取り組み

広告事業

トレカ事業

ヘルスケア事業

IoT事業

2 トレカ事業 事業内容

トレカ横丁を運営しているエイチ・エム・ワイ社と業務提携し、トレカ自動販売機の共同運営を開始。スムーズな事業の立ち上げに成功し、本格稼働から約3か月にて報告セグメントの1つとして収益化

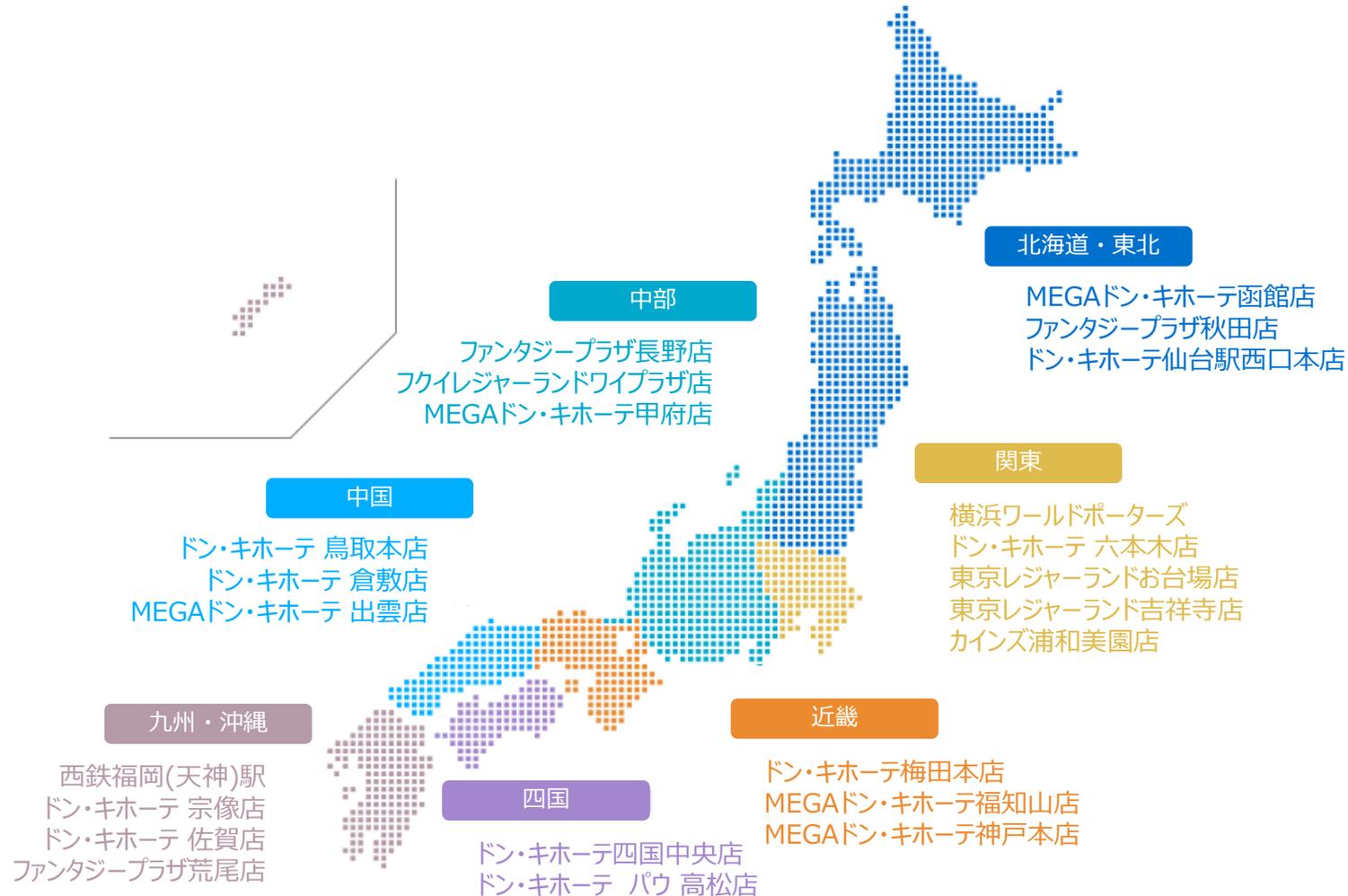


※トレカ横丁総本店に設置されているトレカ自販機

スムーズな事業の立ち上げに成功した要因

- トレカ分野に精通したノウハウを保有するエイチ・エム・ワイ社との業務提携
- 自動販売機型販売による展開
- トレカ横丁のブランド
- 当社の事業企画力

2 トレカ事業 「トレカ横丁」主な自動販売機マップ



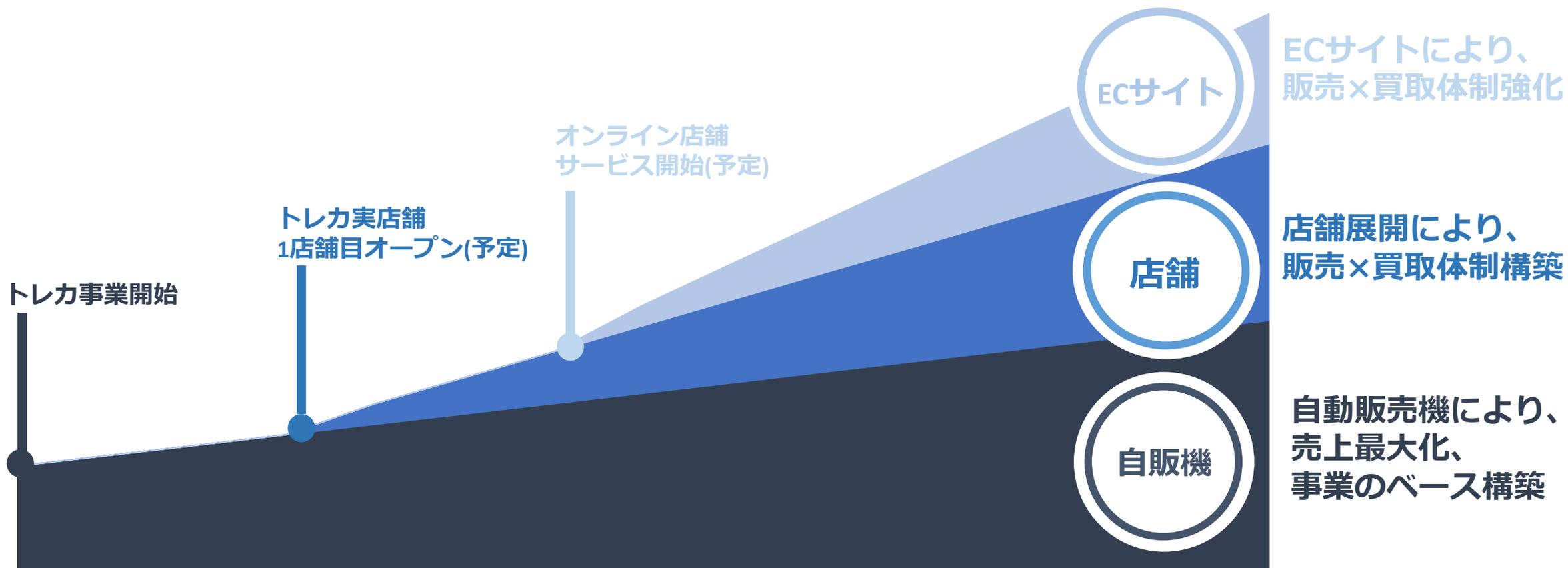
「トレカ横丁」自動販売機を、全国各地で展開中。

自動販売機は毎月増加中

※主な店舗を記載しており、記載店舗以外においても「トレカ横丁」自動販売機を展開しています。

2 トレカ事業 今後の事業展開

「トレカ横丁」自動販売機にて売上最大化を図り、
 今後は自社の実店舗、オンライン店舗の売上を積み上げて事業拡大を見込む



2 2024年9月期 各事業の取り組み

広告事業

トレカ事業

ヘルスケア事業

IoT事業

2 ヘルスケア事業 第1弾「Ascella社」の取り組み内容

● 感染症検査システム早期実現に向けたジョイントベンチャー開始

ウィズ・パートナーズとともにAscella社の経営権獲得（2023年12月）
Ascella社の経営意思決定の迅速化を図ると同時に「Ascella Real Time System」
の開発、製造に注力し、先ずは国内においてビジネスを構築していくことを決定。



AXELMARK公式
You Tubeチャンネル

Ascella Real Time System

PCR 検査と同等以上の高い検出感度・特異性かつ、約6分で迅速に
性感染症を始めとした様々な感染症の原因となるウイルスや細菌を検出可能



3チャンネルポケットサイズ (左)
(75 mm x 30 mm x 15 mm)
*右は大きさの比較のための電子タバコ

ハンディタイプのIoT検出デバイスと使い捨ての検査キット



約6分で検査結果を
スマホから確認可能

性感染症は、
世界で年間推定3億
5,700万人以上が感染
国内での検査数も
年間50万件以上



COVID-19、
インフルエンザは、
日本国内で
年間推定1,000万人以上が
感染している

性感染症、COVID-19、インフル
エンザなど様々な感染症に対応

いつでも・どこでも・すぐに、検査が可能

2 ヘルスケア事業の展開について

● Web/クラウド上で完結する感染症検査プラットフォーム構築

IoT検査キットにより、セルフテストの結果、感染が疑われる場合には、アプリ等を通じて近隣のクリニックの紹介やオンライン診療・服薬指導の提供など、セルフテストからクリニックを通じた診断、治療薬の処方までをワンストップで提供するプラットフォームを開発予定。

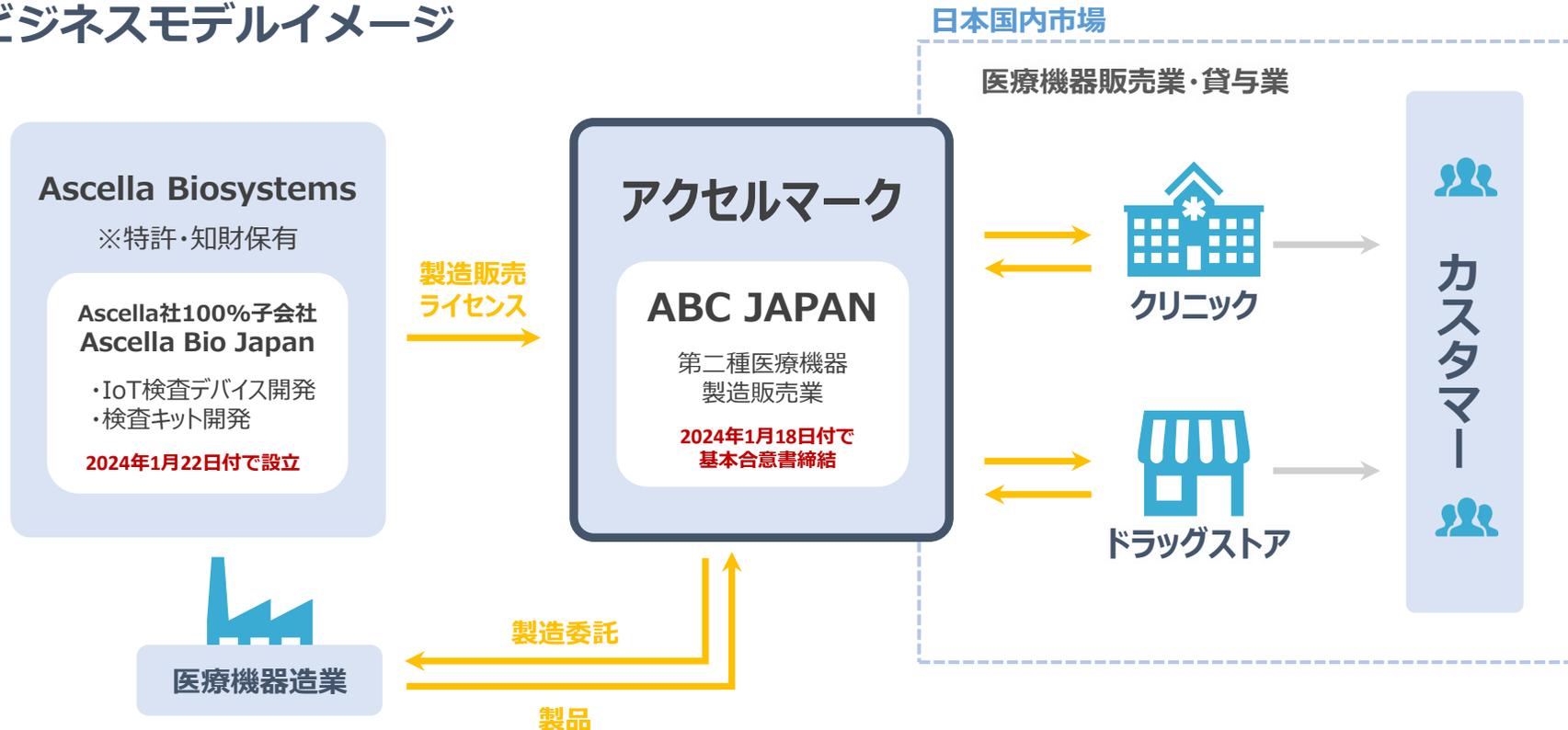


2 第二種医療機器製造販売業許可の取得で広がるビジネスモデル

- 第二種医療機器製造販売業許可を保有するABC JAPAN社を完全子会社化することを基本合意

当社グループ自らが主体となりAscella社製品を様々な形で展開することが可能、Ascella社との取り組み以外についても、医療機器の取り扱いをはじめ様々なビジネスモデルの構築が可能となる

医療機器製造販売業許可で広がる ビジネスモデルイメージ



2 2024年9月期 各事業の取り組み



広告事業

トレカ事業

ヘルスケア事業

IoT事業

2 IoT事業 取り組み内容

● 積雪深自動モニタリングシステム YUKIMI

新たに北海道内の自治体で実証実験開始。

青森県内の複数自治体にて継続受注
山形県、石川県の2自治体にて導入済み。

内閣府が実施する「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用し、
今後もYUKIMIを通じて地域創生に貢献する。

山形県内自治体の積雪監視システム構築業務を
東日本電信電話株式会社 山形支店と共同受注

「やまがたITソリューションEXPO2023」NTT東日本の
防災DXソリューションにてYUKIMIの体験コーナー
および実機を展示（2023年11月7日開催）

石川県内の自治体で
今冬より導入開始

北海道内で有償の
実証実験開始

青森県で
継続受注

積雪深自動モニタリングシステム
YUKIMI



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

目次

- 1 2024年9月期 1Q業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2024年9月期 業績予想**
- 4 今後の方針について

3 2024年9月期 業績予想の進捗

当第1四半期に関して、
 売上高および営業利益は、広告事業における市場動向の影響はありつつも第2四半期以降の事業拡大を見込む
 経常利益および当期純利益は、投資事業組合運用益を営業外収益として計上したことにより、
 利益が発生しているが、現時点では通期業績予想を据え置くものとする。

単位：百万円

	2023年9月期 通期 実績	2024年9月期 1Q 実績	2024年9月期 通期 予想
売上高	2,144	558	3,000
営業利益	▲98	▲20	1
経常利益	▲100	40	1
当期純利益	▲102	41	1

目次

- 1 2024年9月期 1Q業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2024年9月期 業績予想
- 4 今後の方針について**

全社

中長期的な経営基盤の安定化を実現するために、
「事業規模拡大への投資」と「人材・働く環境への投資」を積極的に行う

広告事業

引き続き収益事業として事業拡大を推進

1. 営業力の強化

- ・スペシャリストの積極採用により競争力を強化
- ・事業スピードを重視した組織体制の組成

2. 新規広告プロダクトの投入

- ・ポストクッキー時代に対応した新たな広告配信プラットフォーム「AXEL MARK DSP」の導入拡大
- ・継続的な新規プロダクトのR&Dの推進

トレカ事業

アナログからデジタルまで一気通貫で
事業を推進し、加速度的な事業拡大を図る

ヘルスケア事業

- ・パートナー企業各社とともに、ヘルスケア領域における各種取り組みを進め、早期の事業化を行う
- ・当社グループにて、医療機器製造販売業の許可を保有することにより高い収益性を持った事業構造への転換を目指す

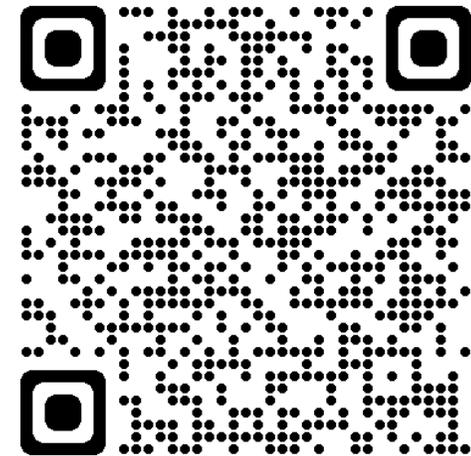
IoT事業

採用自治体数の大幅増を実現させる

AXEL MARK CHANNEL を開設いたしました

YouTube上に公式チャンネルを開設いたしました。
サービス内容のご紹介や決算説明等
アクセルマークの情報を動画でお届けしてまいります。

https://www.youtube.com/@axelmark_official





当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>